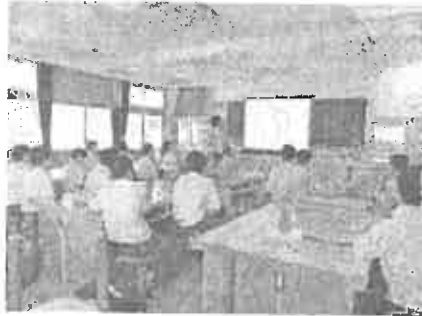




大学の講義を体験 — 2年生学部学科研究会 —

7月31日に、2年生を対象に「学部学科研究会」が行われました。大学・大学院の講義を通して学問や研究の概要を知り、高校卒業後の進路を考えるヒントにすることを目的としたもので、今年で15回目になります。

事前に実施した受講希望調査をもとに13講座を開設し、県内外の大学・大学院から講師を招いて90分間の講義を実施しました。



当日の様子1

講義の最初は緊張していた生徒たちも、次第に講師の話に引き込まれ、熱心に講義を受けていました。

今回の研究会を行うにあたって、多くの講師の方々にご協力いただきました。講師の方からは、「真剣に授業を受けている生徒が多く、印象的でした」、「非常に真面目でしっかりしていますが、もう少し積極性を出してみればと思います」というような感想をいただきました。



当日の様子2

生徒の感想は「最初、結び目の数学とは何のことかさっぱり分からなかったが、日常の結び目を見たときにこれは自明な結び目だと考えることができるようになった。遺伝子の研究にも応用されていることが分かった」や「『must』と『have to』の違いを聞かれて、『義務の強さでしょう』と思ったが、それ以外にも興味深い違いがあることを知ることができた」などがあつた。

講義で学んだことを今後の進路学習に生かしましょう。

同学舎説明会 — 現役大学生が受験アドバイス —

8月22日に、本校で「同学舎説明会」が行われました。同学舎は鹿児島県出身者のための東京にある男子学生寮です。東京大学や首都大学東京、中央大学などの有名大学に通う学生が入寮しています。その中の本校の卒業生1名も含めた13名が講師としてきてくれました。説明会には、全学年から27名が参加しました。グループごとに分かれて「大学生活について」や「受験勉強の仕方」について説明がありました。参加した3年生の男子は「充実した学生生活の話聞いて、自分も絶対に志望校に合格したい」と学習意欲が高まった様子でした。



結果を次に生かそう — 7月進研模試 結果届く —

7月に実施した進研模試の結果が届き、その個人成績票が各クラスで配られました。今回は、

- 1年生「初めての模試で全国レベルを実感する」
- 2年生「志望校選択の第1歩を踏み出す」
- 3年生「秋以降の学習課題を明確にする」

をテーマに、個人成績票を次の点から分析することで、今後の勉強に生かし、次回の模試に備えましょう。中央高校生の到達目標は、偏差値60以上です。

- 1 全国レベルでの学力位置と成績変動を確認する
- 2 各教科の対策が必要な分野を確認し、今後の目標を立てる
- 3 志望校判定を確認し、目標との距離をチェックする(3年)
- 4 第1志望校合格に向けて優先的に補強すべき分野を読み取る(3年)

【3学年部から】

大学入試センター試験について

追まざる者は必ず退き、退かざる者は必ず進む。(福沢諭吉「学問のすすめ」)

前期後半も始まり、いよいよ受験に向けた追い込みの時期を迎えようとしている。夏季休業中は自分の意図する学習に取り組むことができただろうか。また、前期末考査はベストを尽くせただろうか。いよいよこれからが正念場。精神的にも高校3年間で最もきつい時期になるだろうが、自分自身を信じて前に進んで欲しい。

さて、来たる9月8日(火)にセンター試験出願に関する合同LHRを実施する。事前を知っておいて欲しいこと、考えておいてもらいたいことを以下にまとめたので、しっかり理解して、不明な点は事前に確認しておこう。

<センター試験の時間割>

2015年度は以下の大きな変更があったが、2016年度についても踏襲される。

- (1) 理科の試験時間帯が2つに分かれる(理科①(午前:基礎科目), 理科②(午後:専門科目))
- (2) 理科②の新課程科目と旧課程科目の問題冊子を別々に作成・配布 → 「試験室を別々に設定」
⇒ 同一高校の志願者が別々の試験場に指定される場合あり(男女の別/「地歴・公民」「理科②」の受験科目数の組合せ)

期 日	出題教科	試験時間	備 考
平成28年 1月16日(土)	地理歴史 公 民	2科目受験 9:30~11:40 1科目受験 10:40~11:40	※ 第1解答科目については志望校の指定確認
	国 語	13:00~14:20	
	外 国 語	<筆記> 15:10~16:30 <リスニング> 17:10~18:10	
		理 科 ①	9:30~10:30
1月17日(日)	数 学 ①	11:20~12:20	新課程用と旧課程用問題合わせて1冊
	数 学 ②	13:40~14:40	※ 選択科目の塗りつぶしの際は要注意!
	理 科 ②	2科目受験 15:30~17:40 1科目受験 16:40~17:40	※ 第1解答科目については志望校の指定確認

- ※1 理科①で基礎科目を受験する場合、必ず2科目を受験しなければならない。(1科目だけの受験は不可)
- ※2 地理歴史・公民、理科②の専門科目の科目数もセンター試験の出願の際に申請したとおりの科目数で受験する。
(前半60分で解答する科目を「第1解答科目」、後半60分で解答する科目を「第2解答科目」と呼ぶ)
 - ・ 2科目受験者が、第1解答科目のみを受験して第2解答科目を受験せずに途中退出することは認められない。
 - ・ どの教科を第1解答科目にするかは、センター試験当日までに決定することになる。

※ 詳しくは後日配布される「受験案内」を熟読すること。

最も注意しなければならないのは、今後、志望校が変更になったとしても、センター試験出願後に、受験パターンの変更はできないという点である。従って、現段階で、第1志望だけでなく、受験する可能性のある大学すべてについて、受験科目を確認しておく必要がある。(センター試験で思ったほどの点数が取れずに志望校を変更しなければならない可能性も考慮して、第2・第3志望を受験できる可能性を残す受験パターンを設定しよう。)

地理歴史・公民：A(1科目受験) B(2科目受験) X(受験しない)

理科①・理科②：A(理科①から2科目選択) B(理科②から1科目選択) C(理科①から2科目及び理科②から1科目選択)
D(理科②から2科目選択)

<センター試験の出願に関する注意点>

- (1) 大学入試センター試験に関しては、個人での出願はできません。提出期限等はきちんと守ること!
 - ※ 9月18日(金)までに検定料の振り込みと清書を完了することになる。その後「志願票」を提出することになる。
 - 3教科以上(成績開示)18,800円 / 2教科以下(成績開示)12,800円 受験料振込は必ず、受付窓口で!
- (2) 「受験教科事前登録制」⇒ ① 受験教科名 ② 地理歴史、公民及受験科目数 ③ 理科の科目選択方法
 - ※ 出願時に登録した内容を出願後(試験当日を含む)に変更することはできません。志願者本人が記入します。
- (3) 「イヤホン不適合措置申請」 ※ 試験当日の申し出不可! 注意(実物は英語の教科担当者が持っています)
<申請手順> 鹿児島大学の入試担当窓口にてその旨を申し出て、「イヤホン不適合措置申請書」に署名をもらう。
⇒ 志願票(第Ⅱ面)の所定の欄に「申請書」を添付して出願

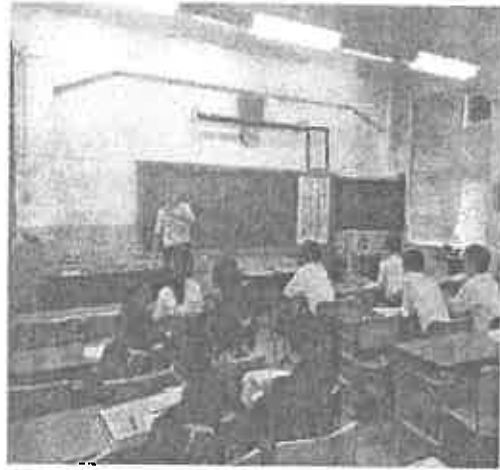
【2学年部から】

特別講演 演題「後輩に語る」

東京大学特任教授 日置 光久 氏 (本校9期生)

8月7日(金)、本校の卒業生(9期生)であり、現在は東京大学で教鞭をとられている日置光久先生が久しぶりに母校を訪問され、後輩たちに向けて講演をしてくださいました。

講演の中で先生は、「生き方」について、自らの生い立ちから現在に至るまでを回想しながら、後輩諸君にわかりやすく語りかけてくださいました。特に、印象的だった話に、人生の選択や進路選択に臨むにあたって、歴史上の人物に問い合わせてみよう…というものがありました。



「鹿児島中央高校周辺には、激動の日本近代史を力強く生き抜いた明治維新の主人公たちにまつわる史跡や像が建ち並んでいる。自分がこれからの人生道中で難しい局面にぶつかった際に、西郷だったら、大久保だったら…と先人たちの生き様をヒントにしてみてもどうだろうか。きっと、私もそうであったように、郷土の先人たちが君たちの人生の道標となってくれるであろう。」

講演後の懇親会の席でも、自らの高校時代を懐かしく思い出されながら、「後輩たちはマジメだ。マジメ過ぎる…我々の頃はもう少し『覇気』があったように思う。是非とも高校3年間で知・徳・体の鍛錬に努めてもらうとともに、『胆力』(=事にあたって、恐れったり、尻ごみしたりしない精神力。ものに動じない気力。)を身につけた大人になってもらいたい。」「東大に入学してきてほしい…」などと後輩たちへの想いを語っていらっしやった。

(期末考査後の学校生活を充実させるヒント)

- cpassを毎日記入し、提出しよう!
- 服装や容儀に気をつけよう!(特にバッジのつけ忘れ)
- いつも決まった時間に宅習にとりかかろう!
- ゆとりのある登下校を心がけよう!
- 身のまわりの整理整頓をしよう!



【1学年部から】

自分の 現在地を 知ろう！

1年生にとっては、文系・理系の選択をしなければならない時を迎えています。少し緊張しているかもしれません。

さて、今回「大人になる本」からの一部を紹介します。



どんな人生を送りたいか、ぼんやりと夢見ているだけなら、それは「子どもの夢」にすぎない。夢を手に入れるための具体的な方法を持たないあなたは、いつまでたっても、ただぼんやりと夢を見上げ、落ちこんだり、腹を立てたりしている。あなたは、大人になるということは、夢を捨てることだと決め込んで、子どものままでいようとしているのだろうか。

だけど、大人になるということは、夢を捨てることではない。大人になるということは、現実の中から具体的な道を探しだし、夢と現実のギャップを埋めていく方法を知ることでもあるんだ。

具体的な道を探し出すためには、まず自分の現在地をきちんと知らなければならない。街にある地図には、必ず「現在地」に丸印がついている。現在地がわからなければ、行きたいところへ行くための道を見つけ出すことができないからだ。

自分の現在地を見つけるためには、自分がいまどのような現実をかかえているかを知らなければならない。それはあなたが、社会の中でどのような評価を受けているかを知ることでもある。現在地が、社会的にはまったく評価されていない場所だったり、八方塞がりに見える場所だったりしても、だいじょうぶ。道は必ず見つけ出せる。

うずくまって悲しんでいても、道を探すことはできない。立ち上がって、あたりを見まわしてみよう。あなたの現在地は、あなたが世界とつながるための起点なんだ。あなたは、ここから歩き出すしかない。だからつらくても、自分の現在地をきちんと確認しよう。それが、自分の道を見つけるための第一歩なんだ。

見まわしてみると、あなたのまわりには、いろいろな道があることがわかる。大通りもあれば、路地もある。だけど、どの道も、あなたの足元まではのびてない。道はあなたを避けて通っているようにすら見える。一步踏みだせば、道にでられそうな気もするけど、その一步を踏み出す決心がつかない。

あなたには、どの道があなたの行きたいところへ続いている道なのか、よくわからないかもしれない。この道を行けば、自分の望んでいるところへ行けるはずだと思っても、たどり着く自信が持てないのかもしれない。行きたいところが分からなくて、どの道を選べばいいのかわからなくなってしまうことだってある。そんなとき、いったい何を手がかりにして進んでいったらいいのだろう。どうしたら自信を取りもどすことができるだろう。

信じられないかもしれないけど、あなたはあなた自身を知ること、その手がかりを見つけられる。自信を取りもどすことだってできる。鍵はすべてあなたの中にある。（「大人になる本」バット・ハルマー）

<進路は地道な努力の積み重ね>

高校1年

自分の理想とする生き方や、漠然とした将来の方向・職業を考える。

- ①進学か就職か。
- ②文系か理系か。
- ③2年生で選択科目は何を選ぶか。

高校2年

自分の興味・適性をつかみ、能力を伸ばし、具体的な将来の目標を設定する。

- ①国公立大学か私立大学か、また四年制か短大か専修学校かを決める。
- ②学部・学科・専攻分野を決める。
- ③志望校群を決める。

高校3年

自分の総合的能力と進学情報を考え合わせ、進路を決定し、挑戦する。

- ①志望校をしぼる。
- ②出願の手続きをする。
- ③国公立のセンター試験と2次試験、私立短大・専修学校の個別試験の対策をする。

<自己分析をしよう>



面接では、必ず「学生時代は何に打ち込みましたか」「そこで何を得ましたか」といったことを質問されるもの。それらにスラスラ答えるためには「自分はどんな人間なのか」「これから何をしたいのか」について振り返って考えてみるのが欠かせません。

- ①第一歩は今までの自分を振り返ること！
- ②自分はどんな人間か、自分なりに考えよう！
- ③自分の一番やりたいことを見つけよう！